



高き理想

令和3年度卒業生の受験結果について（速報版）

令和3年度卒業生 196名の進路状況の速報版をお知らせします。詳細については、まとめ次第、西高HPに掲載し、さらに「進路ガイダンス」でもお知らせします。

国公立大学の合格数は、延べ115となりました。大学別にみると、山形大学48、山形県立保健医療大学14、東北大学1、筑波大学2、千葉大学4、新潟大学10でした。過卒生で山形大学医学部医学科に1名合格しています。私立大学の合格数は延べ226となり、早稲田大学1、青山学院大学1、立教大学2、中央大学5、法政大学3、東京理科大学3、東北学院大学38、東北福祉大学22、東北芸術工科大学18でした。

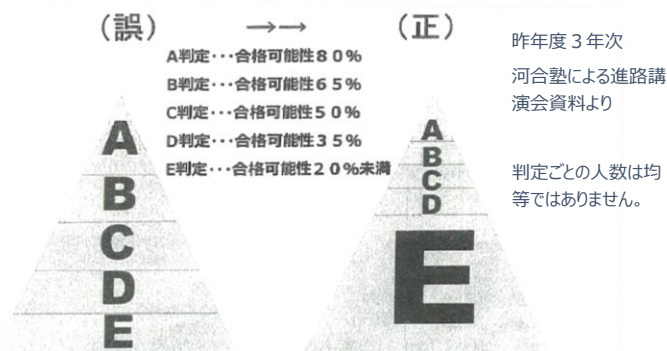
昨年度の共通テストは、共通テスト初年度やこれまでのセンター試験と比べて、大幅に難化した科目が増えました。900点での平均点も大幅に下がり、受験校を決める際には「安全志向」に加えて、コロナ禍の影響もあり、「地元志向」の傾向が強まりました。そのような中、卒業生は最後まで粘り強く「全力主義」を貫き通し（下の記事を参照）、志望校に多くの生徒が合格していきました。みなさんもこれに続いていけるように、特に3年次生は受験まであと1年を切っていますので、高き理想に向かって、日々の生活を一步步頑張りていきましょう！

データから見る西高生の頑張り

西高生（令和3年度卒業生）の頑張りについて、データで振り返ってみます。共通テスト後に、その自己採点を元に、志望校の合格可能性をA～Eの5段階で判定がなされます。ベネッセによると、合格可能性は、A（80%以上）、B（80～60%）、C（60～40%）、D（40～20%）、E（20%未満）とされています。右の表は、国公立大学、前中後期および独自日程を受験した延べ141名の結果になります。C、D判定の生徒でも、粘り強く受験した結果、多くの生徒が合格を勝ち取ったことが見て取れます。

注意したい点もあります。この判定は、共通テストについてのみの判定だ、ということです。2次試験については考慮されていません。その点は、皆さんがこれから受験する模擬試験でも冷静に判断するべき点です。具体例を挙げると、東北大学文学部は共テ600点：2次1000点ですので、共テの判定だけでは合格は勝ち取れません。逆に山形大学地教文化創生では共テ800点：2次200点ですので、共テの判定の信頼性も増します。

判定	A	B	C	D	E
合格	24	26	21	7	4
不合格	2	5	14	7	31
合格率	92%	84%	60%	50%	11%



合格していった生徒の共通点は、目の前の判定にのみ左右されず、受験科目や配点、自分の得意不得意科目をしっかりと分析して、目標を設定し、ひたむきに学習に向き合った所が挙げられます。詳細は6月に発刊される「進路ガイダンス」にてお知らせします。ぜひ、参考にしてください。

内容についての質問やご意見は
進路指導課 伊藤 までお知らせください。